

提案タイトル	階層構造の公共交通ネットワークへの自動運転の展開により 地域先進モビリティシステムを構築する地域活性化事業
提案者 岐阜県岐阜市	活用技術 自動運転

内閣府 近未来技術等社会実装事業

■ 背景・課題

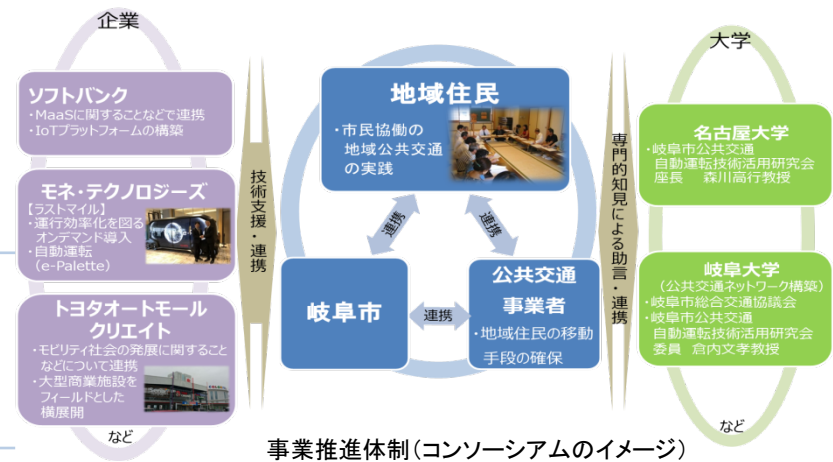
目指す 将来像
解決すべき 課題

- 人口減少と少子高齢化を迎える中、活力ある中心市街地と各地域を利便性の高い公共交通などのネットワークで結ぶコンパクト＋ネットワークの都市づくりを目指す
- 運転免許を保持しない高齢者や、バス停までの短距離の移動が困難な交通弱者の増加が予想される
- 交通事業者のバス運転手不足が深刻化し、地域交通の持続が危惧される
- 中心市街地の活力低下は、中枢中核都市としての求心力低下を招くことが危惧される

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：ラストマイルのオンデマンド化・自動運転社会実装

活用技術	事業概要
自動運転	- コミュニティバスの走行が困難な狭隘道路などを対象とした、きめ細やかな移動サービスを提供するコミバスサポート便(オンデマンド)を導入する - 民間事業者と協働し、オンデマンド運行で得られたビッグデータや最先端モビリティAI技術を活用して、自動運転社会実装を目指す



○事業：中心部循環バス路線の自動運転化

活用技術	事業概要
自動運転	中心部のシンボリックな路線である循環バス路線での、バスタイプの自動運転車両による実証実験を行う



ラストマイルの自動運転化(イメージ)